



第69号

発行所
大原野自治連合会
大原野社会福祉協議会

「令和元年」の大原野は

魅力あふれる郷に

大原野自治連合会長 永谷 文隆

盛夏の候、大原野地域の皆様には益々ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃は何かと自治連合会の各事業の取り組みに温かいご理解ご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。

今年度も早いもので3ヶ月が経過しました。5月1日には天皇陛下が即位されて、30年余り続いた「平成」が終わり「令和」に改元され、新しい時代の幕開けが始まりました。自治連合会・各種団体の総会も無事終了し、事業活動も順調に推移しています。

「令和元年度西京区運営方針」が示されました。西京区では、年度ごとに重点的に取り組む施策、事業の方針・内容と、区役所改革の取り組みなどを掲げた「西京区運営方針」を策定し、区民の皆様にお知らせしています。令和元年度の運営方針は、「西京区基本計画」を推進するための第3期重点テーマである「地域の更なる活性化」、「文化を基軸とした西京区ならではのまちづくりの推進」

「地域ぐるみでの子どもはぐくみ、健康長寿の推進」、「安心・安全で環境にやさしいまちづくりの推進」を重点方針と位置付けました。「いつまでも住み続けたい。きつと行ってみよう西京」をキャッチフレーズに、西京区・洛西地域の新たな活性化ビジョンを掲げる「目指すべきまちのビジョン」を目指し、新たな運営方針の下、区民の皆様と協働して多彩な事業に取り組みまいります。

以上、西京区運営方針を基本に大原野地域において、平成30

「マルシェ大原野」をはじめ、「風土・food大原野」や「大原野インスタグラムフォトコンテスト」などの魅力発信イベントを開催し、地域住民主体の取り組みを支援します。平成28年度より取り組んでまいりました農山漁村振興交付金事業の地域資源活用対策・人材活用対策については、平成30

地域の絆を大切に

人の和をより深く

—平成から令和の時代に—
大原野社会福祉協議会長 小原 喜信

向暑の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は「大原野社会福祉協議会」の事業活動にご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。そして、本年度の社協賛助会員の募集にあたりまして

年度をもって交付事業は終了しましたが、引き続き地域主体での活動に取り組みまいります。「マルシェ大原野」も早いもので7月1日で3周年になります。又、昨年度より取り組んでまいりました、阪急洛西口駅「トート」での大原野野菜の販売についても引き続き積極的に取り組んでまいります。

後になりましたが、4月1日付の京都市人事異動により、新しく西京区役所洛西支所洛西担当区長に安田淳司様、洛西支所地域力推進室まちづくり推進課長に星野和之様、洛西支所地域力推進室総務防災課長に足利一平様、洛西支所地域力推進室まちづくり広聴係長に竹内直人様が着任されました。大原野地域振興と活性化にご支援よろしくお願ひ致します。

結びにあたり、暑さ厳しい日々が続きますが健康に留意され仕事に精励されますようご祈念申し上げます。

いスタートから早や2ヶ月が経ちました。平成から令和へと新しい時代を迎えるにあたり、皆様方もこの令和の「和」という響きの中に先ずは平和を願ひ、そして家族の絆や地域の輪の広がる時代を想ひ描かれたことでしょうか。令和のどこかに昭和へのノスタルジアを求めるとは昭和生まれの証かもしれません。令和という新しい時代の幕開けは、世間の人々や全世界への新元号の周

“求む消防団員”

大原野消防分団 上羽 班

大原野地区にお住まいの皆様におかれましては、日頃から消防団活動に温かいご支援とご協力そしてご理解を賜り誠にありがとうございます。

さて、5月から「令和」に年号が変わりました。新年号発表の際に、安倍首相は談話で「一人一人の日本人が明日への希望と共に、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願ひを込めた」と述べられました。

近年、各地で大きな災害が起こり、尊い命や財産が失われています。記憶に新しいのは、昨年6月の「大阪府北部地震」と7月に起きた「西日本豪雨」です。近畿から九

知・浸透の速さにも驚かされました。これまで大正から昭和へはラジオが活躍し、昭和から平成へはテレビが活躍しました。平成から令和へはインターネットが大活躍で、まさしくこちらも時代が変わったと言えます。平成最後の昨年は自然災害が多発するという本当に大変な年になりました。大地震の発生や集中豪雨さらには度重なる台風の襲来と、気の休まる時の無いままに令和を迎えた、そんな感覚です。でもこれで終わりではありません。大原野の地です。いつ何時何が起るかは全く予測不可能です。不

州地方にわたり大きな被害が出ました。震度6弱を記録した「大阪府北部地震」の死者は6名。8時間雨量・72時間雨量などが、中国・近畿地方など多くの地点で観測史上1位を記録した「西日本豪雨」の死者は224名。又、建物などの被害は両災害とも甚大で、現在でもビニールシートで屋根を覆っている家屋も散見されます。このような大きな災害が起こった時、多くの団体が活躍しますが、一番身近で活躍する団体の一つに消防団があります。

災害時は別として消防団の主な活動は、毎月5日・20日の巡回警備、年末の特別警備やその他啓

意の大災害に備えて、日頃から防災器具を整えるとともに防災意識を高め、それを維持していくことが大切さは身をもって平成の時代に体験したところ

もしもの時のキーワードに、自助・共助・公助という三つのことばがあります。公助は自然災害のみならず、地域福祉ひいては私たちの日々の暮らしにも相通じています。「共助」とは文字通り人びとが絆を大切に力を合わせて生きていくことです。令和の時代となっても私たちの生き方として変わることはなく、改めてその意義が見

心鏡 邑和

●今回も食物の話。おから、きんぴらごぼう、ひじき、生ぶしと豆腐、おばんざいの代表格。漢字では「お番菜」と書くが、「番」は日常的、粗末な、と言った意味があり、番茶、番傘と同様に日常的な野菜や乾物を手間かけて調理する昔からの京都の家庭料理。食材は一切無駄にせず、すべて使い切る禅宗の食文化の影響を受けているとも●食生活の変化で面倒な料理を作る家庭は少なくなったが、おばんざいはデパ地下や惣菜店では健在である。ヘルシーなイメージが人気の原因らしく、品揃いもすごい。おふくろの味とはちょっと違うが我慢しなければなるまい●京都の飲食店には観光客向けに「京のおばんざい」を看板メニューにする店もある。小料理店で外国人観光客がおばんざいの盛り合わせを食べているのを見たことがある。驚いた●昔の台所にはおくどさんと呼ばれるかまどがあり、そこで、質素だが、丁寧に作られるのがおばんざいだっただのに、すっかり変わってしまった、今や外食産業の手に移った感がある。食品ロスの中には質素節約のお手本のおばんざいも含まれている筈。残念である●とはいえ、ずいきょうす揚げの炊いたんを残らないように二人分だけ作ってくれと頼んだら、女房は怒るに違いない。

直されることでしょう。自然環境に恵まれたこの大原野で、安心・安全に暮らしていくことは地域の皆様の強い思いです。大原野社会福祉協議会では「みんなで支え合う福祉のまちづくり」を目指して令和の時代に相応しい地域福祉活動を進めてまいりたいと思います。大原野社会福祉協議会への一層のご理解とご支援の程宜しくお願い申し上げます。

社会福祉協議会への
賛助金
ご協力ありがとうございます。
「いっしょにまじった。」

(京都放送 中澤隆司)

令和元年度 自治会長・各種団体長名簿

民生・児童委員

各種団体長(順不同)

民生・児童委員	担当区域
岩崎 睦子	北春日町
小原 節子	南春日町
小島 睦子	上里北ノ町・東野町
治田 佐代子	上里南ノ町
小田 富久	灰方町
城戸 美恵子	石作町
林 恵子	小塩町
上羽 康裕	上羽町
齋藤 民江	石見町
上羽 正樹	宇の山
畑 恵子	外畑町・出灰町
塩見 波津恵	紅葉町
松村 みよ子	勝山町
藤原 敏治	鳥見町
稲葉 芳子	男鹿町
主任児童委員	
土高 永貢子	上里小学校区
齋藤 恭江	大原野小学校区

団体名	役職名	氏名	住所
市政協力委員連絡協議会	会長	永谷 文隆	石作町
環境美化推進協議会	会長	永谷 文隆	石作町
社会福祉協議会	会長	小原 喜信	南春日町
更生保護女性会	代表	村上 貴美代	上里北ノ町
老人クラブ連合会	会長	畑 勲	石作町
防犯推進委員協議会 大原野支部	支部長	斉藤 昭男	石見町
遺族会	会長	芦田 昌紀	石見町
大原野安心・安全ネットワーク協議会	本部長	永谷 文隆	石作町
交通安全推進会	会長	高岸 道男	上里男鹿町
民生・児童委員協議会	会長	小原 節子	南春日町
子育て支援委員会	会長	土高 永貢子	上里南ノ町
西京少年補導委員会 大原野支部	支部長	吉田 亨	石見町
地域自主防災会	会長	永谷 文隆	石作町
体育振興会	会長	上田 清和	南春日町
大原野消防分団	分団長	林 寛幸	南春日町
地域振興協議会	会長	城戸 平左衛門	石作町
大原野森林公園運営管理協会	会長	永谷 文隆	石作町
保護司会	代表	清水 博	灰方町
地区計画推進協議会	会長		
善峰川改修促進対策委員会	会長	向井 公二	上羽町
平安講社大原野地域	代表	富阪 裕一	上里北ノ町
大原野土地改良区	理事長	長谷川 隆	小塩町
大原野中学校	校長	濱 昭一	上里南ノ町
大原野小学校	校長	日吉 肇	灰方町
上里小学校	校長	吉田 満	上里南ノ町
大原野中学校PTA	会長	中村 有真	南春日町
大原野小学校PTA	会長	大槻 貞彦	上羽町
上里小学校PTA	会長	林 麻衣	東竹の里町
京都中央農業協同組合大原野支店	支店長	高畑 淳司	灰方町

地域活動についてのご意見、ご提案、ご協力の申し出などありましたら、各自治会長や左記団体長にお申し出下さい。

自治会長

団体名	氏名
大原野自治連合会	(顧問) 富阪 裕一 (会長) 永谷 文隆
春日町自治会	安井 敏
上里町自治会	齋藤 克志
灰方町自治会	小田 芳弘
石作町自治会	小河 浩
小塩町自治会	長谷川 隆
上羽町自治会	森田 利明
石見町自治会	小野 有三
宇の山自治会	今村 博一
外畑町自治会	畑 孝二
出灰町自治会	林 登志夫
紅葉町自治会	玉川 健二
勝山町自治会	山本 洋平
鳥見町自治会	岩崎 浩子
男鹿町自治会	中島 達雄
東山台自治会	宮崎 良二
東野町自治会	有田 一雄
滝ノ下自治会	高日 慶子
エルパーク自治会	片山 浩司
事務局	☎ 332-6444

老人福祉員

氏名	担当区域
畑 幸枝	北春日町・南春日町
橋戸 貴子	上羽町・宇の山・石見町 上里北ノ町・上里南ノ町
橋田 澄子	灰方町・石作町・小塩町
辻 早美	勝山町・紅葉町
阪口 幸子	鳥見町・男鹿町
波多野 美智子	東野町・東山台 エルパーク・滝ノ下
奥村 克子	出灰町・外畑町

喜春庵を訪ねて

大原野歴史同好会通信 (30)

4月13日大原野上里南ノ町の喜春庵を訪ねました。バス通りから南に少し入ったところにあるこじんまりとした寺といふよりも庵にふさわしい佇まいです。くぐり戸を抜けると境内中央に一本の桜の古木が目に入り、片隅には歴代住職を祀った古い石塔がいくつもありました。

喜春庵は、山号を瑞光院と称し臨済宗南禅寺の末寺で、応仁2年(1468年)に性庵大和尚が開基となつて創建されました。その後、享保16年(1713年)と明和7年(1770年)に二度も堂宇が焼失し、現在のお堂と観音像収蔵庫は昭和44年(1969年)に落慶したそうです。

この地には、平安初期に小野石子という嵯峨天皇の典侍(従六位相当の役職)の邸があり、弘仁7年(816年)に嵯峨天皇が行幸されたことが「類聚国史」

像は、もともと近くの天台宗金輪寺の本尊でしたが同寺が慶長14年(1609年)に焼亡したため喜春庵に移して安置されたことが伝えられています。



喜春庵の見学を終えて、私たちは庵の周辺を散策し、上里の古い家々が現代的な建物に改築されていく様子を嘆じながら帰途につきました。

(坂元和夫記)

(連絡先)
齋藤利一郎(北春日町野田)
☎ FAX 331-0918
までお願いします。

大原野支部総会で

年間方針・予算承認

西京少年補導委員会
大原野支部長 吉田 亨

4月28日(日)開催された総会は、3校の校長・西京署より少年係長のご臨席のもと51名の出席で本部原案を承認可決されました。

年間活動計画を列記します。

- 親子の缶・ゴミ拾い
- 5月12日(日)・11月17日(日)。一回40名で3校周辺を清掃。25〜30袋のゴミです。
- パトロール
- 夏休み期間に、朝(10時から)昼(2時から)夜間(9時から)延べ14回。参加者60名のもとに実施。
- 新春休みにパトロール

9月7日(土)、ブドウ狩り(千弥農園)をします。7月に自治会にお願いして、回覧で参加者を募ります。会費は1000円です。おにぎり・お菓子は全員に支給します。

○こどもみこし

10月6日(日) 区民体育祭に参加します。各町内で創意工夫して作成してください。参加者はお年寄りから幼児まで町内全員で参加してもらっても結構です。

○新春親子凧揚げ

(回覧で参加者募集します)
1月26日(日) 大原野小



善峰川改修促進対策委員会会長 向井公二氏

老人クラブ連合会長 畑 勲氏

“ご協力ありがとうございました”

日赤社資増強運動(令和元年度)
合計 555,100円
を日赤奉仕団に納入しました。

学校で組み立て、農道で揚げます。豚汁が出ます。あわせて親父の会が餅つきをされます。

以上が主な活動です。皆様方の参加をお待ちしています。

今後とも少年補導にご支援ご協力をお願いします。

子供たちの

深い繋がりを求めて

大原野中学校 校長 濱 昭一

この4月で大原野中学校に赴任してきて丸3年が過ぎ、4年目の春を迎えることができました。

毎朝、自宅から車で真っ直ぐ西に向かい出勤してきます。向日市の丘を超える正面に美しい西山の山々が見え、その麓に広がる大原野の町並みが目の前に広がります。自分自身の身体が車とともに大原野の地域に溶け込んでいくような、そんな心地よい気分になり、



一日が始まります。さて、今年度、大原野中学校は77名の新入生を迎え、2年生71名、3年生76名の全校生徒224名で動き出しました。京都市の中では小規模校となりますが、生徒会本部が切り替わることに「一体感」「夢現」「新化」など、斬新な生徒会スローガンを創り出し、子供たちが自ら意欲や主体性を伸ばしてきました。また、部活動においても1年生の部活動加入率がとても高く、一段と活気のある部活動となり、これからの子供たちの更なる成長が期待されます。また、4月27日には、京都市中学校春季総合体育大会の開会式が西京極陸上競技場で行われました。例年になく気温が低く小雨も舞う中、本校の50名の代表が堂々と入場行進をしてくれ

ました。開会式に続く各部の大会でも、春体壮行会での決意どおりに練習の成果を存分に発揮してくれたのではないのでしょうか。一方、大原野の地域にある大原野小学校、上里小学校、そして大原野中学校の3校が主体的に連携を始め、4年目になります。その間、定例校長会をはじめ3校の教職員の交流が活発になるとともに、小学生と中学生の地域合同清掃活動や中学生の小学校訪問による中学校生活オリエンテーション、児童会・生徒会交流や相撲部・吹奏楽部などの部活動交流と、3校の子供たちの繋がりが深まりをみせてきました。

大原野の子供たちは、小中3校の大原野学園で育つという意識をもって、これからも、教職員が一丸となつて大原野の子供たちのために邁進してまいります。本校のそして大原野学園の教育に対しましてご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

「天地、内外ともに平和が達成される」とされた平成の時代が終わり、5月より令和の時代が始まりました。令和には「人々が美しく心を寄せ合うなかで文化が生まれ育つ」という意味が込められている」と言われているそうです。子供たちが大きく育つていくこれからの時代、心を寄せ合いつなぐ力が大切にされる社会になっていくことを心から願っています。

「令和の時代を生きる

子どもたちの育成」

大原野小学校 校長 日吉 肇

今年度は学校教育目標を「自ら学び未来を拓く子の育成」から「自ら学び未来を創造する子」に変更いたしました。子どもたちが将来就くことになる職業の在り方について、技術革新等の影響により大きく変化することになると予測されています。子どもたちの65%は将来、今は存在していない職業に就く(キャッシュ・デビッドソン氏・ニューヨーク市立大学大学院センター教授)との予測や、今後10年から20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い(マイケル・オズボーン氏・オックスフォード大学准教授)などの予測があります。

これからの子どもたちには、自ら歩み進んでいく「未就園児協会の皆様のご尽力のもと、地域の方々がたくさんいただいております。また、子どもたちが安心して学べるように、安心安全の取り組みにも大きな力を入れていただいております。誠にありがとうございます。」

上里校は、自然に恵まれ、地域と共に子どもたちを育てるすばらしい学校です。上里校に就任できた喜びとその責任の重さを感じ、子どもたちのために、地域の皆様とのつながりを大切にして全力で、上里教育に取り組んで参りたいと存じます。これまで同様、皆様のご理解と支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「令和の時代を生きる子どもたちの育成」を指してまいります。

今年度は学校教育目標を「自ら学び未来を拓く子の育成」から「自ら学び未来を創造する子」に変更いたしました。子どもたちが将来就くことになる職業の在り方について、技術革新等の影響により大きく変化することになると予測されています。子どもたちの65%は将来、今は存在していない職業に就く(キャッシュ・デビッドソン氏・ニューヨーク市立大学大学院センター教授)との予測や、今後10年から20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い(マイケル・オズボーン氏・オックスフォード大学准教授)などの予測があります。

令和元年の一年間、「自ら学ぶ」「人とつながる」「自信をもつ」の3つの言葉を大切にし、教職員一同力を合わせて、「夢や希望をもって努力し自信をもって学び続ける児童」を育ててまいります。保護者の皆様、地域の皆様もたくさん学校にお越しいただき、一緒に子どもたちを支え、励ましていただければ幸いです。一年間どうぞよろしくお願いたします。



のびゆく園児たち

上里竹の子こども園
園庭の庭で生まれたザリガニ。毎日えさをあげて赤ちゃんから脱皮し、成長を観察しています。

大原野幼稚園
未就園児教室、ピッピクラブの入会のつどいを4月末日に開催しました。アンパンマンの人形劇を見たりお友達と遊んだり、お母さんといっしょに楽しい時間をすごしました。

大原野こども園
今年度も新しいお友達が沢山入園してきました。少しずつ園生活にも慣れて、笑顔も見られるようになりました。好きな玩具や好きな先生に囲まれてのびのび生活しています。

「学びに向かう力」

地域と共に

上里小学校 校長 吉田 満

地域の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育の推進にご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

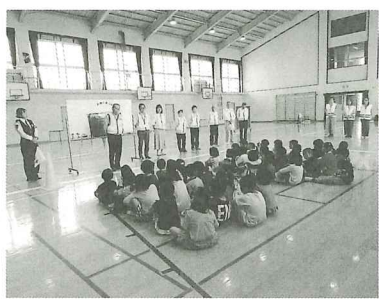
今年度、吉山茂樹校長の後を受け継ぎ、上里小学校校長に就任しました。どうぞよろしくお願いたします。

4月から、通学路の交差点に立ち、登校する子どもたちの安全を見守りながら、挨拶を交わしています。最初は、恥ずかしそうな子ども

もたちも、目を重ねることです。「おはようございます」と声をかけてくれるようになり、笑顔も返してくれる子どもたちが増えてきました。共に笑顔のちよつとした幸です。

先日、2年生の子供が一人で校長室を訪ねてきました。とても緊張してモジモジ。なかなか言葉が出てきません。「どうしましたか」と尋ねると、「校長室のことについて教えてくださいますか」と尋ねると、「どうしてか」と尋ねると、「嬉しそうに独り言。廊下で友達と

「学校の中でここが好きで



すか」「上里小学校の子にもどんな人になってほしいですか」と尋ねられました。2年生の学習活動で校長室に取材に来たのです。そして、聞いたことを、一生懸命書き込んでいます。書き終えると、ノートを机の上に置いて、「パンパン」と嬉しそうに独り言。廊下で友達と

会って、自分の書いた取材

ノートを見せて、一生懸命話を聞いていました。達成感に満ちた笑顔が印象に残っています。小学校での「学び」の一つに、「学びに向かう力」をつけることが挙げられます。「学習することの楽しさや面白さに気づき、自ら目標達成に向かう力」をつけることです。校長室を取材した2年生の子どもの姿にそれを見ることができ

校運営協議会のご尽力のもと、地域の方々がたくさんいただいております。また、子どもたちが安心して学べるように、安心安全の取り組みにも大きな力を入れていただいております。誠にありがとうございます。」

《アルミ缶プルトップ回収》
月～金 A.M.9:30～P.M.4:00
大原野総合自治会館
プルトップをあつめて車椅子をもらいましょう!ご協力お願いします。
— 車椅子を貸出しています —

《天ぷら油回収》
月～金 A.M.9:30～P.M.4:00
大原野総合自治会館
一持参した容器は
必ず持って帰って下さい

体振だより

体育振興会創立60周年

空の青さが、夏らしく輝きを増してまいりました。大原野地域の皆様には、体育振興会の活動に深いご理解とご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。

令和と言う新しい時代を迎え、今年度大原野体育振興会は創立60周年を迎える事となりました。これもひとえに地域住民の皆様方のご協力・ご支援と歴代役員の方々のたゆまざるご努力の賜物と深く感謝を申し上げます。

さて、今年ラグビーワールドカップ、来年は東京オリンピック・パラリンピックと続くスポーツイヤーを迎え、スポーツ機運が増々高まってまいります。日常にスポーツが溶けこみ、スポーツを通して人と人がつながり、地域の絆が一層深まることを願っております。

本年度も役員一同力を合わせ、地域スポーツの発展に努めてまいりますので、より一層のご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。
大原野体育振興会長 上田清和

令和元年度 体育振興会事業 (大原野地域事業)

4月21日(日)	体育振興会総会	
6月9日(日)	ソフトバレーボール大会	
6月16日(日)	バレーボール大会	
7月21日(日) A.M. 9:00	ボウリング大会	京都エナースポーツセンター
10月6日(日) A.M. 8:45	第60回大原野区民体育祭	大原野中学校グラウンド
	雨天順延の場合は10月13日(日)	
10月27日(日) A.M. 9:00	ソフトボール大会	光華女子学園大原野グラウンド
11月17日(日) A.M. 9:00	グラウンドゴルフ・ベタンク大会	大原野中学校グラウンド
	(令和2年)	
2月9日(日) A.M. 9:00	卓球大会	大原野小学校体育館
3月22日(日) A.M. 8:45	里山ウォーキング (主管事業)	
	(集合:大原野小学校グラウンド)	

その他、京都市大会及び西京区大会に多数参加致します。

平成30年度 西京区ボウリング大会 優勝 大原野代表2連覇



平成30年度 京都市スポーツフェスティバル 小学生レクリエーション位入賞 上里小学校

平成30年度 大原野区民ソフトボール大会 優勝 上里町チーム



平成30年度 大原野区民ベタンク大会 優勝 東山台チーム

令和元年度 本部役員・各部部长

会長	上田 清和	総務(係長)	吉永 隆治
顧問	高岸 道男	総務	奥村 尚子
副会長	上羽 正樹		大槻 得三
副会長	松下 誠 (スポーツ推進指導員)		町田 健太郎
副会長	西村 義直		山浦 英子
副会長	田畑 麗子		山本 英子
会計	下村 浩子	[体振クラブ部長]	
会計監査	田中 親 (地域役員)	ソフトバレーボール部	田中 雅喜
会計監査	西森 利和 (地域役員)	バレーボール部	山本真知子
スポーツ推進指導員	村上良弘・片岸光史・田邊嘉美	卓球部	森上 勘一
[学校体育施設開放事業運営委員会]		ベタンク部	大槻 得三
委員長	上田 清和	ソフトボール部	町田 健太郎

※各クラブの部員を募集しています。気軽に入部して下さい。各事業・各クラブ・学校体育施設利用・夜間校庭利用に関する問い合わせやご質問は上田(☎331-0385)まで連絡して下さい。尚、学校施設利用については、京都市西京区学校体育施設開放に関する運営要綱及び学校体育施設開放規定・夜間校庭開放事業規則による。

大原野地域の主な行事予定 (令和元年7月~12月)

7月~8月	毎週金・土曜日に少年補導委員会・防犯推進委員協議会による管内全域の安全パトロール	
7月7日(日)	自主防災会リーダー研修	大原野総合自治会館
7月8日(月)	社協ふれあい事業“なぬか会”	中央老人クラブハウス
9月7日(土)	秋のハイキング ぶどう狩り (少年補導委員会)	千弥農園
9月3日(火)	市民健診	大原野小学校
9月6日(金)	社協ふれあい事業“なぬか会”	上里小学校
9月19日(木)	社協ふとんクリーニング	(右京の里以外の全地域)
9月21日(土)	コミプラすもう大会	大原野中学校
9月25日(水)	市民健診	上里小学校
10月1日(火)	共同募金運動 (12月31日まで)	
10月6日(日)	第60回大原野区民体育祭 (雨天の場合は13日(日)に順延)	大原野中学校
10月8日(火)	社協ふれあい事業“なぬか会”(バス旅行 行先未定)	
10月18日(金)	市民健診 (外畑町・出灰町地域)	外畑公民館
11月7日(木)	社協ふれあい事業“なぬか会”	大原野小学校
11月10日(日)	第25回フェスタ大原野	大原野中学校
11月23日(土)	風土・Food大原野2019	大原野神社
12月7日(土)	しめ縄づくり	上里小学校
12月20日(金)	消防分団による歳末特別警戒パトロール (12月31日まで)	管内全域

定例会議/事業

自治会長会議	毎月第3土曜日
使用済み食用油回収事業	毎月第3土曜日
大原野小学校古紙回収 (PTA)	毎月第2土曜日
上里小学校古紙回収 (PTA)	毎月第3木曜日
大原野中学校古紙回収 (PTA)	毎月第4金曜日
○子育て支援事業 (対象者:これからママになる方、0~3才の乳幼児とその親)	
●ママ・ちゃいるど大原野 平安徳義会他4個所を順番に (10:00~11:30)	毎月第2木曜日
〔社会福祉協議会〕関係	
○健康すこやか学級 (対象者:65歳以上の方)	
●やさしい筋トレ 大原野総合自治会館	毎月第1・3木曜日
〃 右京の里会館	毎月第2木曜日
●たのしい筋トレ 上里小学校コミュニティホール	毎月第4木曜日
●おしゃべり会 (年齢制限無し) 右京の里会館	毎月第3火曜日 (8月は休み)
●まるやかクラブ (囲碁・将棋) 中央老人クラブハウス	毎週水曜日

『元気です!マルシェ大原野』 地域振興に大きく貢献

大原野農産物等直売所 運営協議会長 武川 桑次

大原野農産物等直売所「マルシェ大原野」を開設し、はや4年目に入りました。その間、地域の皆様方には本事業に対する深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。現在、JA京都中央大原野支店の駐車場及び集出荷場をお借りし、毎月第1・第3土曜日の午前中(9時~12時)と毎週火曜日の午前中(9時~11時30分)に開設しています。来店者も回を重ねるごとに、大原野地区はもちろんのこと、近隣の洛西ニュータウン・桂坂・桂等、他市町村からの来店者も増加し、大原野野菜は新鮮で美味しいと非常に評判も良く、これも地域

皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。その甲斐あって、昨年オープンしました阪急洛西口駅「トート阪急」の開設の際には、大原野産野菜をオープン記念品として活用していただき、12月の金曜日と土曜日には、大原野産の野菜や花を販売していただきました。そして、今年の6月28日を皮切りに毎週金曜日に販売していただいています。その商品は、地元生産者・マルシェ大原野出荷登録者53名が出荷しています。関係者と致しましては、このマルシェ大原野の取り組みが大きく評価され、販路拡大に弾みがつき、生産意欲の増大に結びつくことを期待

大原野『安心・安全』ネットワーク

大原野安心安全ネットワーク 協議会 高岸道男

暑さ日々増す中で地域住民の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。大原野地域では住みやすい安全なまちづくりの構築を目指し、自治連合会長が本部長となり、各町自治会長の皆様と、地域4団体・交通安全推進会・防犯推進協議会・自主防災会・少年補導委員会」が「丸」となり組織を立ち上げ、他の団体や地元企業・PTAを含む3学校・幼稚園・こども園と協力し、地域を上げて「大原野交番を中心に地域の絆で安心安全なまちづくり」に向かっていくための協議会です。

実施事業の内容につきましては、それぞれ担当の団体と自治会長の皆様とが大原野小学校区内・上里小学校区内に分かれ、年間4回、全域の夜間パトロール(20時より)を実施しています。活動を始めてから数年経ちますが、この間目立った事件もなく現在に至っております。他に、地域内で事件が発生すると交番から関係団体に連絡が入り、その内容をできる限り早く知らせることに努めております。

編集余談

「令和」最初の「大原野だより」69号をお届けします。「昭和」で生まれ、「平成」

「令和」へと続いた自治連合会と社会福祉協議会の共同発行となるこの広報誌。いつかホームページに姿を変えていくのでしょうか。改元という節目は時間の流れを意識させてくれます。今号へ寄稿・協力していただいた皆様、ありがとうございました。又、皆様方からのご意見や投稿をお待ちしております。

(啓)